

須賀川市中央図書館 ニュースレター



LIBRARY NEWSLETTER

令和 5年 10月号

(第 51号)



○本は予約できます。
○図書館に所蔵していない本は、購入のリクエストを受付しています。
(一人 年間十二冊まで) リクエスト方法は、お近くのスタッフまで…

	書 名	著者・出版社など
4階	・逃げまくった文豪たち 嫌なことがあったら逃げたらいいよ	真山 知幸 // 著 (実務教育出版)
	・芝居の面白さ、教えます: 日本編	井上 ひさし // 著 (作品社)
	・シンデレラはどこへ行ったのか 少女小説と『ジェイン・エア』	廣野 由美子 // 著 (岩波書店)
	・硬い体が驚くほどやわらかくなるストレッチ ・写真でわかる透析看護アドバンス	原 幸夫 // 監修 (日東書院本社) 鈴木 千晴 // 監修 徳元 しのぶ // 指導 (インターメディカ)
3階	・闇バイト	廣末 登 // 著 (祥伝社)
	・できるChatGPT GPT3.5対応	清水 理史・できるシリーズ編集部 // 著 越塚 登 // 監修 (インプレス)
	・恐怖の正体 ト라우マ・恐怖症からホラーまで	春日 武彦 // 著 (中央公論新社)
	・あなたの日本語だいじょうぶ? SNS時代の言葉力 ・もしも、くずし字が読めたなら	金田一 秀穂 // 著 (暮しの手帖社) 宮下 拓三 // 著 (右文書院)
2階	・ぷかぷかメンダコ	紺 // え 藤田 千賀 // ぶん 新野 大 // 監修 (303 BOOKS)
	・ねぞうプロレス	ひらぎ みつえ // 作 絵 (教育画劇)
	・飼えたらすごい生きもの図鑑 家で飼ったら、どうなる?	小宮 輝之 // 監修 まつむら あきひろ・代々木アニメーション学院 // 絵 (中央公論新社)
	・工事のくるま大集合! ・かあさんのサリー	小賀野 実 // 監修 (成美堂出版) マムタ ナイニー // ぶん サンディア ブラバート // え かまち ゆか // やく (ワールドライブラリー)
～ 今回掲載した本は一部です。各エリアの新作図書コーナーをご覧ください ～		



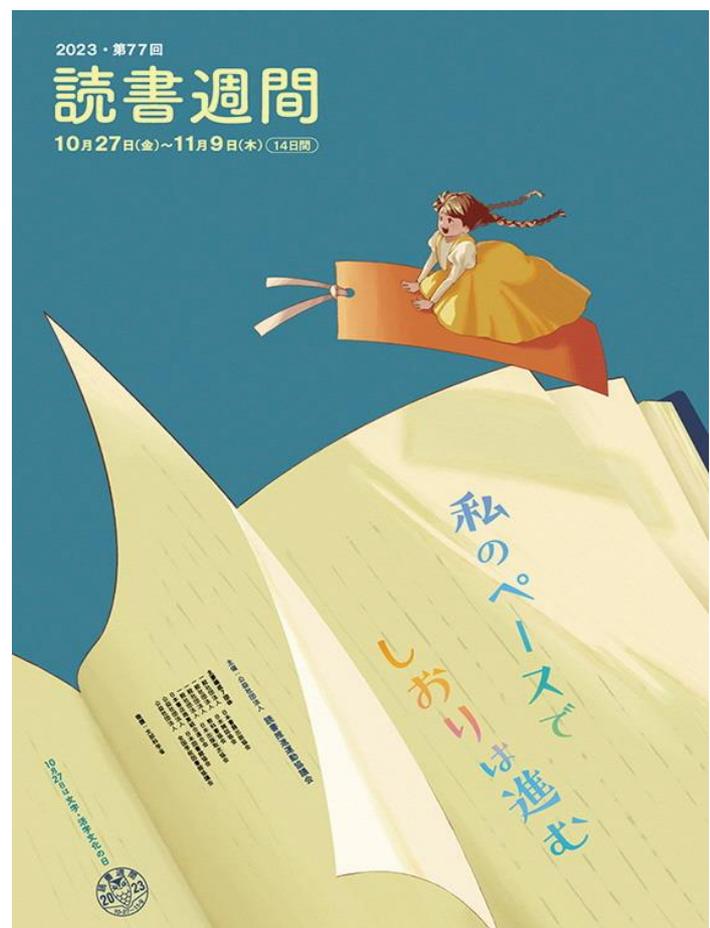
新着図書



今年も「読書週間」の季節になりました。77回目をむかえた「読書週間」、今年の標語は「私のペースでしおりは進む」です。

中央図書館では、今年も読書週間に合わせて本の展示をしています。裏面で各階の展示をご紹介しますので、普段あまり行く機会がない場所の本も手に取ってみてください。

1冊の本をじっくり読む人も、ページがどんどん進む人も、自分だけの読書の時間を楽しんでくださいね。



読書の秋は、図書館におまかせ！

10月27日から11月9日は「読書週間」です。今年も中央図書館では展示コーナーを「夏休み」から「読書」や「秋」に模様替えして、皆様のご利用をお待ちしています。

1階【tette通り(カフェ付近)】

○『秋を楽しむ紅茶時間』

紅茶の種類や入れ方が紹介されている本をはじめ、紅茶を楽しむための本を集めました。11月1日は紅茶の日です。身近な紅茶をもっと楽しんでみませんか？

2階【こどもライブラリー】

○『絵本作家特集』

絵本作家の伝記やアトリエの紹介をした本を展示します。大人の方もご覧ください。

○『絵本で音楽界』(10月まで)

ページを開くと、音が聞こえてきそう！

○『五味太郎特集』(11月から)

絵本作家の五味太郎さんは今年でデビュー50周年！

3階【メインライブラリー】10月27日～

○『ブックオブザイヤー2023』

中央図書館の司書が、今年読んで面白かった本を紹介します！

○『須賀川地区高校生図書委員の おすすめ本』

高校生図書委員のおすすめの本と手書きのPOPを展示します。

4階【しらべるライブラリー】

○『作家の複製手書き原稿』

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の複製原画と関連資料を展示しています。「銀河鉄道の夜」の世界観に合わせた飾りつけも合わせてお楽しみください。

図書館スタッフの イチオシ！本

書名：『切り身なのになぜ刺身？
知っているようで知らない日本語の秘密』
著者：語源の謎研究会
出版社：青春出版社
出版年：2019年12月
所蔵場所：3階メインライブラリー(異文化交流)
請求番号：812/キ

普段何気なく使っている日本語ですが、ふと不思議に思ったことはありませんか？切り身なのに何故刺身と表現するのか？真っ赤な嘘とは何故青でも黄色でもなく赤なのか？当たり前すぎて気づきにくいですが、不思議な点を挙げればキリがありません。

言葉には語源というものがあります。些細な事柄から人々に伝わり、いつの間にか浸透していきます。現代でも若者言葉などと言って、新しい言葉が生まれています。

この本では、『ミーハー』の語源が相撲だったり、『ちんぷんかんぷん』は本当にその場の思い付きで生まれていたり、面白いエピソードを知ることができます。皆さんも、日常で使っている日本語の不思議な世界に触れてみませんか？ (1階スタッフS)

発行：須賀川市中央図書館 令和5年10月15日
住所：須賀川市中町4-1 須賀川市民交流センター tette(てって)内
電話：0248-75-3309
開館日：月・水～土 9:00～20:00、日・祝 9:00～18:00
休館日：毎週火曜日、特別整理期間、年末年始(12月29日～1月3日)